



編集・発行

十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム
〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1
TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103

「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にNPO法人となりました。

節分イベント

令和8年 豆まき



みなさまの無病息災を願いまして、情報館名物の豆まきを行います。子どもから大人まで、どなたでも参加していただけます。袋を持って、お集まりください。

日 時/1月31日(土) 午前11時から
場 所/1階スロープ前 ※令和6年度の様子↓
参加費/無料



パソコン講習

【令和7年度 情報館主催 パソコン講習】
町内役員お助けコース

ワードでの文章や画像・図形を使った資料の作成、エクセルの基本計算、請求書の作成を学びます。

日 時/2月24日(火)~3月19日(木)
※火・木曜日(全8回)
午後7時~9時

対 象/文字入力、マウス操作ができる人

受講料/9,500円(テキスト代込み)

会 場/情報館1階 コンピュータ研修室

定 員/先着11人

申込み/専用チラシの申込用紙に記入してお持ちください。電話・FAXでもお申込みできます。



イベント報告

おはなしびよりクリスマス・スペシャル
ゆきだるまつくろう!

12月21日にクリスマスのおはなし会を開催しました。ご参加いただいた皆さんありがとうございました!



←よみきかせ
クリスマスのおはなし
をたのしんで♪

こうさく
たくさん、こせい
ゆたかなゆきだるまが
かんせいしました→



テーマ展示

第174回 芥川賞・直木賞候補作決定

令和7年度下半期の芥川賞・直木賞の候補作が発表されました。関連コーナーを2階新着コーナー向かいに展開中です。結果発表は令和8年1月14日(水)です。

【芥川龍之介賞】

久栖博季「貝殻航路」(『文藝』12月号)
坂崎かおる「へび」(『文藝』10月号)
坂本湾「BOXBOXBOXBOX」(『文藝』冬季号)
鳥山まこと「時の家」(『群像』8月号)
畠山丑雄「叫び」(『新潮』12月号)



【直木三十五賞】 ※単行本化作品

嶋津輝『カフェーの帰り道』(東京創元社) 所蔵あり
住田祐『白鷺(はくろ)立つ』(文藝春秋) 所蔵あり
大門剛明『神都(しんと)の証人』(講談社) 所蔵あり
葉真中顕『家族』(文藝春秋) 所蔵あり
渡辺優『女王様の電話番号』(集英社)

1・2月はお休みです

◆閉架書庫公開

【今後の公開予定】3/15(日)

◆名作読書講座

【今後の実施予定】3/8(日)



資料の取り扱いについてのお願い

寒い季節になると、室内と屋外の温度差により資料が結露し、故障や劣化につながるおそれがあります。また雨や雪で濡れてしまった本は、その後の利用ができなくなってしまう場合もあります。屋外での持ち運びの際には、バッグや袋に入れるなどの保護をお願いします。



1月のおはなし会 ()内は対象、時間はすべて10時30分から

◆情報館

10日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

17日(土)／読み聞かせの会 どんぐり
(幼児～小学校低学年)

24日(土)／おはなし「たまたまこ」(乳幼児)

31日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)



◆川西分室

17日(土)／おはなしの会「ふきのとう」
(乳幼児～小学校3年生くらい)



◆松代分室

10日(土)／おはなしたんぽぽ
(幼児～小学校低学年)



本のちから (22)

子ども読書活動推進コーディネーター
林 篤子

新しい年になりました。心地よい緊張感を感じて自然と背筋が伸びる、厳かで特別な時期です。

そんなはじまりの時に、神話に触れてみてはいかがでしょうか。『くにのはじまり』という絵本をご紹介します。日本の神話 全6巻の中の第1巻です。古事記をもとにした絵本です。古事記というとなんか難しいと思われるかもしれませんが、どこかで聞いたことがある、実は身近なお話かもしれません。

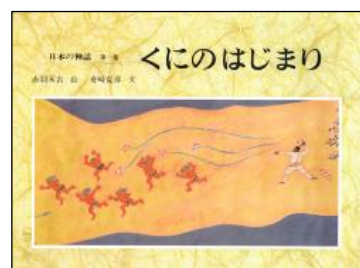
神の国をおさめていた、この世のはじめの神、^{あめのみなかぬし}天之御中主の神は、子孫である伊邪那岐という男神と伊邪那美という女神に、混沌とした下界を整えるよう命じます。二人は国づくりから始め、その後たくさんの神々を生みます。家の神、川の神、海の神、農業の神、風の神、野の神、山の神、食物の神、そして最後に火の神を生んだ時にやけどを負った伊邪那美は、死者の国である黄泉へと旅立ってしまいます。愛する伊邪那美に一目会いたい伊邪那岐は、はるかな黄泉の国を訪れますが、変わり果てた伊邪那美の姿を見て恐ろしくなり逃げ帰ります。伊邪那岐は追いかけてくる鬼たちを桃や山ぶどう、筍でふりはらい、命からがら逃げ切ります。その後、水辺でけがれを落とすためにみそぎを行うのでした。みそぎの最中にも伊邪那岐の眼から^{あまてらすおみかみ}“天照大御神”と^{つきよみのかみ}“月読神”が、鼻からは^{すさのお}“須佐之男の命”が次々と生まれ、天照大御神には^{たかま}高天の原を、月読神には夜の国を、須佐之男の命には海上をおさめさせるようにしたということです。

黄泉の国で鬼から逃げるために伊邪那岐が投げた桃には、魔除けや不老長寿の意味があるそうです。桃太郎や桃の節句など、昔から桃には霊力があると信じられてきました。筍は、わずか10日で竹に成長し、また地下茎で広がっていくことから、生命力や子孫繁栄の意味もあるそうです。二人が生んだ35柱もの神々は、あらゆるものに神が宿る^{やおよろず}八百万の神々です。初詣で神社を訪れた際にも、祀られている神様の物語を知ると、今までと違った心持ちになるかもしれません。

この後、第2巻『あまのいわと』へと続いていきます。赤羽末吉さんの格調高い絵とともに、古事記の壮大な世界を是非味わって

みてください。1階おはなしの部屋、昔話のコーナーにあります。日本の神話 第1巻『くにのはじまり』

赤羽末吉／絵 舟崎克彦／文 あかね書房



1月のテーマ図書

●一般向け

- ・初笑い・プレイバック2025
- ・大河ドラマ「豊臣兄弟！」ほか



●児童向け

- ・おめでたい！
- ・ユーモアたっぷりほか



1月18日(日)は 家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。

十日町情報館

●開館時間 午前9時～午後7時 ●休館日 第2・第4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)

各分室の開館カレンダーは、十日町情報館「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。



ホームページ



Instagram